

第4学年1組 国語科学習指導案

平成29年 10月26日(木) 2校時

指導者 講師 村上 竜也

場所 4年教室

1 本研究授業の提案

登場人物の気持ちが直接的に書かれていない部分からも、気持ちを考えることができるような読み取りを行い、その根拠となる言葉を文中から探し出し、自分の考えを明確にして伝え合うことで登場人物の心情の理解を深め合う授業。

2 本研究の授業技術課題

- (1) 登場人物の気持ちが直接的に書かれていない部分からも、気持ちを考えることができるように本時までに読み取った内容を掲示物などで可視化し、自分の考えをより明確に考えることができるようにする。
- (2) 登場人物の気持ち想像し、考えを広げるためにグループ学習を取り入れ、一人一人の考えを反映させ全体で共有できるようにする。

3 単元名 「ごんぎつね」

4 単元の目標

物語を読んで、中心となる人物とほかの人物との関わりについて考え、感想を伝え合うことができる。

5 指導計画 (本時 8/13時間)

時	主な学習活動	単元の評価規準
①	○学習の見通しを立てる ・物語を通読し、中心となる人物の気持ちの変化について感想を伝え合うという学習課題を確かめる。	【関心・意欲・態度】 物語を読むことに興味を持ち、中心となる人物の気持ちの変化を考えようとしている。
② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	○場面ごとに起きた出来事確かめ、それぞれの場面のごんと兵十の気持ちを考える。 ・第一場面を読み取る。 ・第二場面を読み取る。 ・第三場面を読み取る。 ・第四、五場面を読み取る。 ・第六、七場面を読み取る。 ・ごんに問いかけた兵十の気持ちを読み取る。 ・うなずいたごんの気持ちを読み取る。(本時) ・ごんと兵十との関わりを確かめ、ごんの気持ちの変化を読み取る。	【読むウ】 叙述をもとにごんの境遇や行動を読み取っている。 【読むウ】 ごんと兵十のとの関わりをとらえ、ごんの気持ちの変化を想像しながら読んでいる。 【書くウ】 ごんと兵十のとの関わりをとらえ、ごんの気持ちを読み取ることができる。
⑩ ⑪ ⑫ ⑬	○最後の場面のごんと兵十の気持ちを想像し、自分の感想を文章にまとめ、話し合う。 ・最後の場面場面のごんと兵十の気持ちを想像し、文章にまとめる。 ・書いた文章を読み合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付く。	【読むウ】 物語を読んで感じたことや思ったことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いがあることに気づいている。 【書くウ】 ごんや兵十の気持ちについて、本文中の言葉や自分の体験を例や理由を挙げて、自分が考えたことを書いている。

6 本時の展開

(1) ねらい

最後の場面の兵十に対するごんの気持ちを読み取ることができる。

(2) 指導過程

学習活動	指導事項・留意点・評価
1 前時の学習内容を振り返る。 ・ごんのしてきたいたずらとつぐないを確認する。 ・兵十のごんに対する気持ちを確認する。	・前時までの振り返りができるように、学習でまとめた表を教室に掲示しておく。
2 本時の学習課題を知る。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> だまっとうなずいたごんは兵十にどんなことを言いたかったか想像を広げ、考えよう。 </div>	
3 ごんの気持ちを考える。 ①前時で付箋に書いておいた自分の考えをグループに分かれて発表し合う。 〈予想される児童の考え〉 ・やっと分かってもらえた・いままでありがとう ・いたずらしてごめん・許して・うなぎのことごめん ・もっと遊びたかった・死にたくない ②似ている考えをひとまとまりにして、新しい言葉にする。 〈予想される児童の考え〉 やっと分かってもらえた、もっと遊びたかった →わかり合えたことでこれから一緒に遊べると思ったのに・・・。 いたずらしてごめん、うなぎのことごめん →いろいろな悪さをしてごめんなさい。 いままでありがとう、死にたくない →やっと気持ちを伝えられたのにこれで死んでしまうのは辛い。	・グループで話し合うなかで考えたことも付箋に書かせる。 ・付箋に書いた内容を理由もつけてグループ内で発表させる。 ・付箋には、短い文で書かせておく。 【書くウ】 ごんと兵十のとの関わりをとらえ、ごんの気持ちを読み取ることができる。 ・ひとまとまりにする言葉は短い文にする必要はないことを指示する。
4 考えを発表し合い友達の考えを知る。 ・グループごとにまとめた考えを紙に書く ・黒板に貼り、グループごとに発表し合い全体で考えを共有する。	・全体で共有した考えで、「なるほど」と思う考えは、ノートに書き写させる。

(3) 板書計画

<p style="text-align: center;">言葉(ごん)</p> <p style="text-align: center;">ごん</p> <p style="text-align: center;">-----</p> <p style="text-align: center;">兵十</p> <p style="text-align: center;">・わかり合えたことで、これから一緒に遊べると思ったのに・・・ ・いろいろなわるさをしてごめんなさい。 ・やっと気持ちを伝えられたのにこれで死んでしまうのは辛い。</p>	<p style="text-align: center;">ごんぎつね</p> <p style="text-align: center;">だまっとうなずいたごんは兵十にどんなことを言いたかったか想像を広げ、考えよう。</p>
--	--

(4) 本時の評価

具体の評価規準	ごんの気持ちを読み取ることができる。(観察・ワークシート)
Aと判断する姿	ごんの気持ちを根拠となる言葉を明確にしなが読み取ることができる。(観察・ワークシート)
Cへの手だて	掲示物や友達の考えを参考にし、自分の考えを持つことができるようにする。

